



ゆかりびと

第 21 回

クライミングの楽しさを伝えたい

みんなを魅了できる選手に

矢板東高校3年

船木 陽 はる さん



「幼い頃から高いところに登るのが好きだった」そう話す船木さんがクライミングを始めたのは小学4年生の頃。テレビ番組「SASUKE」に憧れ、体を鍛えるために近所のクライミングジム「T・ROX」に通い始めたのがきっかけでした。当時はとにかく登ることが楽しくて、毎日のように通っていたと言います。

中学生ごろから公式戦などに臨むようになり、昨年、一昨年のリードユース日本選手権では、2年連続で全国3位に入賞。そして今年、悲願の初優勝を果たし、全国1位に輝きました。8月には日本代表として、フィンランドで開催される世界ユース選手権に挑戦します。

競技をする中で、体が小さいことがコンプレックスだったと話す船木さん。ホールドに届かず落下し、何度も悔しい思いをしたことから、ホールドからホールドへジャンプするランジの練習に励みました。今では強靱な体幹と小さい体を生かしたランジが自分の武器になっていると言います。

実は、初入賞した2年前、広報紙の取材を依頼しましたが実現しませんでした。当時の心境を聞いてみると「とにかく恥ずかしくて」と苦笑い。今回笑顔で対応してくれた船木さんからは想像がつかないような理由でした。「自信につながっているように見える」と話すのは3年間担任を務める星野先生。挫折を味わったり、努力が実を結んだり、この2年間、クライミングに向き合い積み重ねた時間は船木さんにとっても良い経験となり、成長につながっていたようです。将来について聞くと、「今はまだまだ力が足りていないけど」と控えめな言葉を添えつつ、「オリンピックに出場すること」と、大きな夢を語ってくれました。

Editor's Note 編集後記

▷埼玉県で開催された全国広報コンクールの表彰式に参加してきました。今年は、昨年よりもひと回り大きい賞状と重厚感のある盾をいただき、改めて賞の重みを実感しました。この重みに恥じない広報紙づくりに励まねば(汗)と思いました(DYC)

▷JAMSTECの見学は通常抽選制で、なかなか当選しないとのこと。高野さんのご配慮で、予定にはなかった「よこすか」にまで入れることに…!中高生のために惜しみなく施設を案内してくださった高野さんの人柄の温かさに感動しました。(あ)